

INFORMATION

3/7 赤ちゃんとも楽しむ絵本とわらべうた

日時 3月7日(土) 10時～10時30分、11時～11時30分
 会場 保健センター1階 和室
 内容 赤ちゃんとも楽しむわらべうたと絵本・実践
 募集人数 各先着20組
 講師 伊藤明美氏(浦安市立中央図書館司書)
 対象 6カ月～1歳2カ月までのお子さんと保護者、1歳3カ月～2歳未満のお
 附 図書館室 ☎(72)8383

3/10 文化講演会



町文化協会主催による文化講演会。お話「中国の音楽世界」と馬頭琴コンサートを開催します。モンゴルを代表する伝統的な民族楽器である馬頭琴の音色に癒されてみませんか。



日時 3月10日(火)13時30分
 開場 12時30分
 会場 保健文化センター3階ホール
 内容 菊地重氏(日本馬頭琴協会副会長)による講話「中国の音楽世界」、チ・ブル

3/12, 14 中部コミュニティセンター 成果発表会

日時 3月12日(木)～14日(土) 9時～17時
 14日は15時まで
 会場 中部コミュニティセンター
 内容 華道教室・パッチワーク同好会の作品展示
 附 中部コミュニティセンター ☎(73)3337



3/14 山武都市合同講演会 「なつと99夢フォーラム」



日時 3月14日(土)17時50分～20時
 17時20分開場・受付
 会場 保健文化センター
 講師 大畑誠也氏(九州ルーテル学院大学客員教授)
 内容 「21世紀の人(本も)の(づ)くり」悪戦苦闘能力を身につけよう」

グッド/ミホ(美炎)夫妻による馬頭琴コンサート(スーホの白い馬ほか)
 参加費 無料
 附 生涯学習課生涯学習班 ☎(70)0380

3/22 子育てフォーラム

子育ての支援を行うために、役場関係課、社会福祉協議会、民間子育て支援組織・施設が連絡を取り合い、情報収集・協議・実践する「大網白里子育て支援ネットワーク協議会」がフォーラムを開催します。

子育ての楽しい町を目指して、みんなで話してみませんか。

日時 3月22日(日)13時～15時
 会場 中部コミュニティセンター 視聴覚室
 内容 大人のための朗読、プレゼンテーション、グループワークなど
 テーマ 「地域で育つ地域の子 みんなで子育てしてみませんか」
 その他 保育室の利用希望

3/22 県民NPO講座

平成21年度から山武都市全域で、地域活性化プラットフォーム事業に、取り組んでいきます。この事業は、県のモデル事業の1つであり、3カ年を基本に実施しているものです。今年度、山武都市での実施が決定し、地域の福祉、環境、教育、農林分野や安心、安全等の多くの課題に、地域で解決に取り組む団体の募集を予定しています(選考された団体には助成金を交付)。

事業の実施にあたり、市民活動・NPOについて知っていただくため、基本的な事柄からNPO法人制度についてまで、幅広く紹介します。

日時 3月22日(日)18時30分～20時30分
 18時10分から「NPO紹介ビデオ」を放映
 会場 山武市成東文化会館のぎくプラザ 2階会議室

附 県庁NPO活動推進課 ☎043(223)4147
 山武市市民活動支援課 ☎(80)0151

コスモス通信

町サッカーフェスティバルの結果

町サッカーフェスティバル小学生の部が1月24日・2月1日に増穂小と増穂北小学校で、また、中学生の部が2月7日・8日に大網中と増穂中学校を会場として、開催されました。

隣接市町村のチームも参戦し、熱戦を繰り広げました。結果は次のとおり。
 小学5年生の部
 優勝 みずほFC
 準優勝 パサニオール菅田
 第3位 季美の森FC
 小学6年生の部
 優勝 FC連沼BB
 準優勝 城西JFC
 第3位 九十九里JFC

中学生の部
 優勝 ACカラケル
 準優勝 東金東中学校
 第3位 大網中学校
 八街南中学校 ☎(72)3505

山武都市冬季少年剣道大会の本町の結果

【女子の部】
 優勝 増穂少年剣友会
 【男子低学年の部】
 第3位 増穂少年剣友会
 【男子高学年の部】
 第3位 大網白里町少年剣道会
 個人 敬称略
 2年生の部男子
 第3位 三橋輝己
 3年生の部男子
 準優勝 木内健太郎
 第3位 藤崎隆平
 4年生の部男子
 第3位 大出匠人
 5年生の部男子
 優勝 佐藤孝亮
 準優勝 藤崎俊汰
 第3位 田代魁人
 6年生の部男子
 準優勝 中沢祐樹
 第3位 根本雄介
 5年生の部女子
 優勝 池田安里
 準優勝 山本明日香
 6年生の部女子
 準優勝 今長谷あかり

育つ育てる

『子どもの居心地がいい家庭づくりは親の心から』

子どもが健全にすくすく育っていくために一番必要なものは何でしょうか。それは何よりも温かい家庭、気持ちのいい居場所です。この温かい家庭なしで子どもがうまく育つのは至難の業だと思えます。そして温かい家庭を作り出すのは、親の力です。そして親自身が健康で、毎日を気持ちよく過ごしてこそ、居心地のよい家庭を生み出す力が生まれます。

以前、わたしは幼児を持つ母親の精神的健康に何が影響するかを調査したことがありました(この場合の精神的健康とはうつ状態や神経症的なところがない状態をいいます)。その結果、幼稚園等の親同士の支え、幼稚園等の先生の支え、家族からの支えがあるほど精神的に健康であるという結果が得られました。また自分の時間を持っている人、趣味を持っている人ほど精神的に健康であるという結果も得られたのです。ちなみに精神的に健康とはいえない人の割合が約40%もあり、その多さに驚きを感じました。

特に子どもが幼児のころは子どもに関わる時間が多く、育児にストレスを感じることが多いものです。このストレスは子どもの成長とともに減っていくと考えられますが、子どもが大きくなっても何が精神的健康に影響するかは変わらないように思えます。

実際、わたし個人の経験でも、幼稚園での交流や、PTA活動を通して知り合った親同士が4・5人集まると、子どもたちの愚痴話だけでも話の花が咲き、それだけで気分がすっきりしたものです。またそういった集まりの中には、自分の子どもより少し年長の子どもを持つ親がおり、その人の話を聞くことで現実的な役に立つ情報をもらえるだけでなく、少し先の子どものイメージが見えてとても気が楽になったものです。

もちろん仕事や介護などで忙しく、親同士のおしゃべりや自分自身の時間など持てないという人も多いでしょう。そういった場合でも子どもを何でも愚痴れる気の置けない友人を持ち、10分でも自分自身がほっとできる時間を持っていると、心に余裕が生まれやすいと思います。

そこから、子どもにとっての基地のような居心地のよい家庭を作る力が生まれてくるのではないのでしょうか。
 附 ハートフルさん大網白里教室指導員 ☎(73)0072